負担ズッシリ 消費税増税 保険料値上げ

消費税率が引き上げられた日に、増税に抗議する街頭宣伝。マイクで訴えているのは、そねはじめ都議 ＝4月1日、王子駅前

安倍政権の暴走から区民の暮らし守る区政に

「これじゃもう生活していけない」「ここまでがんばってきたが店を閉めるしかない」―4 月からの消費税率 8% への増税強行に怒りの声が広がっています。新年度から国民健康保険料、後期高齢者医療保険料も値上げされ、年金削減、高齢者の医療費窓口負担 2 倍化と負担がのしかかります。

日本共産党北区議員団は、北区議会第 1 回定例会で「安倍政権の暴走から区民の暮らしを守る区政への転換を」と求めました。

増税を容認する花川区長

花川区長は議会で「消費税収入は社会保障の安定財源」などと増税を容認。年金削減を「必要な対策」とする答弁とともに、区民負担増の姿勢がはっきりとしめされました。

新年度予算 みなさんの声を力に要求実現

●介護・医療連携の充実

今年度から、退院支援を中心にした在宅療養支援窓口の設置や在宅療養協力支援ベッドの確保など、介護・医療連携のモデル事業がスタートします。

●区営シルバーピア建設

2017 年 9 月の入居をめざし、北区初の区営高齢者住宅（シルバーピア）75 戸を北園小学校跡地に建設します。特養ホーム、保育園も併設されます。

●子育て世帯むけ商品券

高齢者むけに続き、新たに子育て世帯むけに 15% のプレミアム付き区内共通商品券が発行されます。15 歳までのお子さんがいる世帯が対象となります。

●住宅リフォーム助成継続

自宅の改修に工事金額の 20%（10 万円限度）を助成する「住まい改修支援事業」が今年度も継続に。4 月以降の工事を対象に 6 月から申請できます。

大震災・福島原発事故から 3 年が経った 3 月 16 日、王子三角公園で「さよなら原発 in 飛鳥山」が開かれ、350 人が参加。「原発は即時ゼロに」とパレードしました。

お困りごと・ご相談はお気軽に地元の区議会議員へ 日本共産党北区議員団 TEL 3908-7144 FAX 5993-0280

宇都宮　章
神谷3-10-8-401
090-4127-7550

さがらとしこ
赤羽北3-23-17
3905-0970（事務所）

ながいともこ
浮間3-1-54-302
080-4429-6338

のの山 けん
岩淵町22-31-401
090-2156-3510

福島　宏紀
豊島5-4-1-615
090-1206-6925

本田　正則
田端3-4-12-305
090-9240-8066

八百川　孝
東十条5-1-9-101
090-6798-2153

やまき 直人
滝野川2-34-4-201
3917-9827

山崎 たい子
豊島7-19-10
090-2160-1292

日本共産党北区議員団ニュース 2014年 春号
発行:日本共産党北区議員団
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
日本共産党北区議員団 検索
http://kyoukita.jp

「子育て1番」といいながら

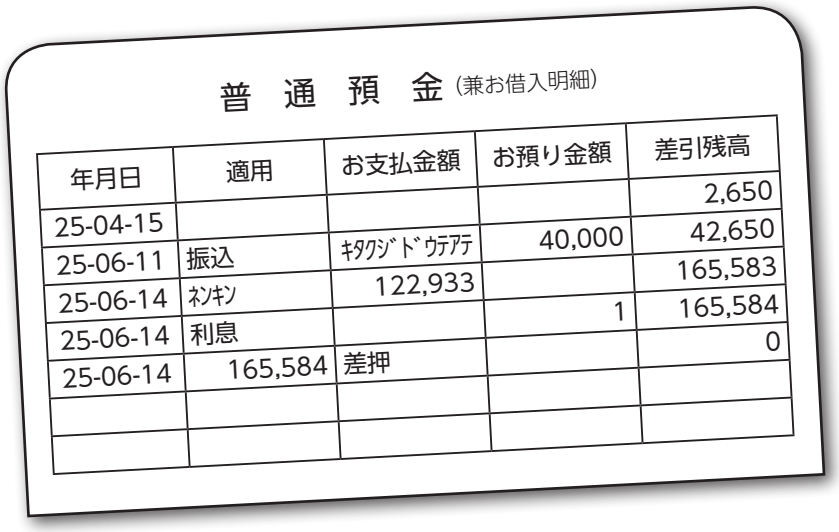
北区が児童手当を差し押さえ

鳥取では違法判決が確定

北区が「経営改革」の名のもと、住民税と保険料の滞納者に容赦ない取り立てをおこなっています。法律で差し押さえが禁止されている児童手当まで、「振り込まれたあとは貯金」だとして差し押さえ、通帳の残高をゼロにする異常ぶり。鳥取では、児童手当の差し押さえは違法との判決が確定しています。

本来、滞納処分が執行停止となる生活保護受給者にまで差し押さえ通知を出し、親族から55万円を超える代理弁済を受け取るなど、生活保護法を無視する事態までおきています。

日本共産党は鳥取の判決や「差し押さえは悪質滞納者に限る」とする国会答弁をふまえて対応するよう是正を求めています。



普　通　預　金（兼お借入明細）

年月日	適用	お支払金額	お預り金額	差引残高
				2,650
25-04-15		ｷﾀｸｼﾞﾄﾞｳﾃｱﾃ	40,000	42,650
25-06-11	振込	122,933		165,583
25-06-14	ﾈﾝｷﾝ		1	165,584
25-06-14	利息	差押		0
25-06-14	165,584			

↑「明日食べるお金まで取られ困り果て、少しでも戻してほしいとお願いしたがダメでした」と語るＡさんの通帳（イメージ）。利息の１円まで差し押さえに。

児童館を再編・縮小　25館→17館以下へ

（仮称）子どもセンター、（仮称）ティーンズ・センターに名称を変更

今後20年間で施設総量の15%を削減するとした「北区公共施設再配置方針」にもとづき、児童館の再編・縮小がすすめられようとしています。

区が示した事業計画・配置方針（案）では、現在25ある児童館を15～17館に減らし、乳幼児専用の「（仮称）子どもセンター」と中高生向けの「（仮称）ティーンズ・センター」に再編。小学生は、学校内で実施される放課後子どもプランに誘導する計画です。

日本共産党は、乳幼児、小学生、中高生の連携が断ち切られ、児童館の機能が失われる危険性を指摘しました。

経営改革プラン・公共施設再配置方針

2つの「行革プラン」は抜本的見直しを

区は主要5基金を過去最高水準の約432億円も積み立てながら「財政が厳しい」と強制徴収や公共施設削減に躍起になっています。区民負担増、サービス切り捨ての経営改革「新5か年プラン」、「公共施設再配置方針」は抜本的に見直すべきです。

特定整備路線

住民不在の道路計画

測量中止・計画の見直しを都に求めよ

86号線計画地（赤羽西）

「防災」の名で数百軒もの住民を立ち退かせる補助86号線（志茂・赤西）、73号線（十条）、81号線（西ヶ原）の特定整備路線計画に、地域住民から怒りの声があがっています。「緊急性があるので住民に相談せず都と区で決めた」などとする区に、日本共産党は「住民の声を聞き、測量中止と計画の見直しを都に求めよ」と迫りました。

笠井議員が現地視察

日本共産党の笠井亮衆院議員は2月21日、北区内の道路建設予定地を視察し、同26日に国会で「机上の事務レベルの判断で認可すべきではない」と、政府の姿勢を問いただしました。

視察中の笠井亮衆院議員（右）

新庁舎用地取得へ印刷局と交渉

3月5日の企画総務委員会で、区より区役所新庁舎建設用地として、王子1丁目にある印刷局用地の一部を取得する交渉に入りたいとの意向が示され、議会として了承しました。日本共産党は区に、公開性・透明性を確保し、区民と議会に説明責任を果たしていくよう求めました。

赤羽体育館いよいよ着工へ

計画が遅れていた（仮称）赤羽体育館（志茂3丁目）は、3月におこなわれた4回目の入札で建設業者が決定し、いよいよ着工へ。2016年夏竣工、17年オープンの予定です。

学校改築・改修計画を策定

北区は、学校施設の老朽化対策と教育環境向上のため、区立小中学校の改築・改修計画を策定。今後11年間で全中学校の改築を完了、小学校は改築とリフレッシュ改修（2回目の大規模改修）でリニューアルをはかります。統合により閉校する校舎などを、改築中の仮校舎とします。